

「工学部第二部 実践知重点科目」vol.4 ～社会人対象、実践能力の育成を目的とした授業～

東京千住キャンパス事務部



佐藤講師のまとめの言葉

「技術者キャリア形成学」

実践知重点科目には、現役で活躍している企業人が講師となっている科目がいくつかあり、大きな特色の一つとなっています。それらの科目のうち、「技術者キャリア形成学」ではTDU技術士会*が担当となり、現場での事例を通し「実務における技術者倫理」、「説得力のある技術提案書」、「キャリア形成のための技術者資格」を修得することを目的としています。今回は15回授業の14回目、技術資格と業務活用事例がテーマの授業に出席してきました。

事例の紹介者は、1級ボイラー技師等の資格を持つ綿貫氏と電気通信主任技術者等の資格を持つ佐々木氏。お二人とも資格を活かし企業の最前線で働かれています。一刻を争うトラブル対応の臨場感溢れる話、4K 8K、携帯基地局、M to M(Machine to Machine)などの最先端の話など、経験談を交えた授業に、特に仕事を持つ履修生は興味津々といった様子でした。

佐々木氏の会社では750もの資格が推奨されているとのこと。また、入札には金額だけでなく技術者の配置(資格の所有、経験年数)も条件となっているとのこと等、改めて現場での資格の重要性を実感しました。

綿貫氏の「自分自身のものさしを身につけ、自分自身が能動的に把握・追求することが大切」、11～15回目の授業担当で企業の事業開発部担当部長をされている佐藤氏の「資格を取ったあとも知識を身につけ続けることが必要」のまとめの言葉からは、月並みですが「資格はゴールではなくスタート」だと思いました。

この科目の最終回は、「①5～10年後ありたい自分の姿は?、②現状の姿は?、①と②のギャップを埋めるキャリア形成プランを資格と関連付けて描く」とのこと。さて、履修者のみなさんは、どんなレポートを書くのでしょうか?



経験談を交えた授業に興味津々の履修生

* TDU技術士会: 国家資格「技術士」の資格を持つ卒業生の会。会員数381名。卒業生の技術士資格取得支援と技術士間の交流等を目的としている。